

平野 広行 議員

清流クラブ

総合計画の前期計画における 市民アンケートの結果について どのように受けとめているか

問

21年に策定された弥富市第1次総合計画も前期基本計画が終わり、26年から今後5年間の後期基本計画が策定されたが、策定に当たり、前期基本計画の達成度を検証し、また市民アンケート調査の結果を踏まえて策定されたと思う。

今回はランダムに抽出された市民2千500人のアンケート調査で、うち有効回答数1千77人のアンケート調査結果に基づき行っている。その結果、満足度において、弥富に愛着を感じている人が83.4%、住み続けた

し、個別に達成度を出し検証すべきと思うが、どのように考えているのか。

各地域のニーズを取り込み 行政運営をしよう

答 総務部長

(1) 小学校区ごとのアンケートデータも捉えており、住み続けたいという定意向の問いの居住小学校区別では、十四山西部小学校区が91.0%で最も高く、次いで十四山東部小学校区89.2%、白鳥小学校区と弥生小学校区が同率で85.7%、桜小学校区が84.9%、栄南小学校区が83.1%、大藤小学校区は80.6%の順となり、ばらつきはあるが、全体として定意向は高いものと考えている。

しかし、これらの回答は、北部地区からの回答が大きくなウエートを占めており、南部地区、十四山地区ではこの回答にそぐわないと考える中尋ねる。

(1) このアンケート調査の結果について、どのように受けとめているのか。
(2) 地域ごとの問題点に対

南部地区の将来像について 市長の考えを問う

問

市長は、施政方針演説の中で、定住人口、特に働く世代である生産年齢人口の増加が不可欠と述べている。南部地区の要望事項として臨海工業地域で働く人の住環境の充実、小学校近くに若い人を増やすための住宅地の建設、名古屋市へ出るための鉄道、その他公共交通機関の充実が挙げられており、根底には人口増につながる施策を一番望んでいるわけである。

私は南部地区の発展なくして弥富の発展はないと考えている。10年後、20年後のこの地域の将来像について、市長の考えを問う。

企業の進出のための津波・高潮対策と 農地を守り育てることが重要と考える

答 市長

市街化調整区域内の企業の進出の促進のため都市計画マスタープラン【図】を策

定した。しかし、愛知県の地区計画との整合性(南部地区において津波・高潮対策を行う)を持たなければならず、まずは津波・高潮対策をしっかりとやり、その背後にある市街化調整区域を守っていくことが非常に重要だと考える。このことについて、しっかりと整合性をとりながら、都市計画マスタープランも進め、多くの企業が進出しやすい環境づくりをしていくことが1点である。

もう一つは、農業振興地域としての農地を守り育てていくためにはどうしているのか。

この2点が、南部地区において重要であると考える。



都市計画法第18条の2に基づき、「市の都市計画に

関する基本的な方針」を定めるもので、市の将来像や土地利用を明らかにすることを目的とするとともに、道路、公園、下水道などの都市施設、街並み・風景といった都市計画・都市づくりに関する様々な分野について、基本的かつ総合的な指針としての役割を果たすもの。